

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報
 1-1. 申請団体

団体名	宜野湾市	代表者名	松川正則
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	098-893-4428
担当者役職	課長	担当者氏名	金城 広郁
住所	901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩1-1-1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望
 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	庄司 昌彦
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体DXの説明資料が豊富で国の動向含めリアルな内容の説明が聞けて、大変参考になったとの声が自治体職員、IT企業からも多数ありました。 沖縄県内では決して聞くことのできない専門的かつ有意義な研修内容で、質疑応答・意見交換においても庄司先生が丁寧に対応していただき、参加者と課題の整理と共有が図られたことも大きな成果です。
アドバイザーへの要望事項	システム標準化に向けた、新たな仕様書が出たタイミングで再度の研修会を開催希望する声、多数ありました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1.	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
対応日・時間	令和4年5月27日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			13時30分	17時30分	10
			活動時間(分)	230	
3-2.	会場名	宜野湾市役所	最寄駅	モノレール古島駅	
派遣場所	所在地	宜野湾市野嵩1-1-1	最寄駅からの交通手段	バス・タクシーで約45分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	県市町村職員、各自治体ベンダー、IT企業	47人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 当面の課題は何なのか?システム標準化の必要性を含め、各自治体が取り組むべき課題とは何か?市と町村の課題の相違?推進体制と必要な人材について、どのように協議し取り組んでいくのか?等々。県の役割は?	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXの推進について、国の動向等に対して、各自治体の取り組みについて主体的に考える機会とする。求められている体制や人材等、各自治体の現状把握が喫緊の課題であることも自覚させる。ベンダーとの共通認識も図る機会とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	情報システムの標準化に向けて、速やかに全庁的横断的な推進体制を整え、20業務の各課との協議の場を設けること。ベンダーさんとの密な連携によるスケジュール管理も重要。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	国の資料等の説明含め、庄司先生が座長を務める各分科会の協議内容や県外自治体の実情等が学習でき、とても参考となった。参加した民間やベンダーからも好評を受けており、共同での学習機会も今後の事業推進には必要かつ重要な機会になることを痛感。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 運営体制等、組織の見直しの必要性と首長コミットと庁内意識醸成の重要性について確認。年度が替わり、いよいよ標準化に向けて具体的取組の必要性について再認識が図られた。(危機感)

<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>ガバメントクラウドについて、ベンダーを含め質疑あったが、具体的方向性や課題等についての明確な回答は得られなかった。作業の具体的な進捗を見極めデジ庁から各自治体・企業へ早めの周知が必要。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>47人の参加で42人から回答を得。研修内容に関心があったは42人。内容理解度は42人が理解を示す。今後の取り組みへは、42人が参考になったと回答する。国の動向を含め、シアな内容の研修内容に参加者から貴重な研修機会との意見多数である。(沖縄県内では決して聞くことのできない内容です)</p>	
<p>5-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものリストより選択下さい</p>	<p>⑤その他</p>
<p>事業の最終的な目指す姿</p>	<p>各自治体における推進体制の構築と職員の意識醸成。県内での民間を含めた意見交換の場形成。</p>	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

